



森下仁丹

報道関係各位

2015年10月15日

森下仁丹株式会社

「第2回アグリサイエンスグランプリ」にて 「微生物触媒工学チーム」に「森下仁丹賞」を授与 ～「微生物触媒工学チーム」と連携して事業化にチャレンジします～

森下仁丹株式会社(本社:大阪市中央区/代表取締役社長:駒村純一)は、株式会社リバネスが10月3日(土)に主催した、農林水産分野限定のビジネスプランコンテスト「第2回アグリサイエンスグランプリ」において、「微生物触媒によるあたらしい農薬」をテーマに発表した「微生物触媒工学チーム」に企業賞「森下仁丹賞」を授与しました。

今回選出した理由は、弊社の「シームレスカプセル」技術と「微生物触媒工学チーム」の「微生物触媒によるあたらしい農薬」を組み合わせる事で、もっと面白いことができるのでは、との期待を込めて選出いたしました。今後、「微生物触媒工学チーム」と連携して、事業化にチャレンジしていきたいと思っています。

弊社は、粉末や液体に加え「微生物触媒工学チーム」が研究したテーマとも関連する、生きた微生物などのあらゆるものを包むことができる「シームレスカプセル」技術をもっています。

この技術は、胃酸の影響を受けずに生きたままビフィズス菌を腸まで届けることができる機能性表示食品の「ビフィーナ®」シリーズを始め、他社の様々な製品などにも採用されています。さらに、レアメタル回収や経口ワクチンなど他分野への応用も進めています。

■企業賞概要■

最終選考会にて、9つの企業賞が決定。企業賞を獲得したチームは、企業と連携のうえ、事業化に向けたチャレンジを開始します。



最終選考会にて、企業賞「森下仁丹賞」を授与
(左から 原富教授(山形大学)、田川(森下仁丹(株))、見立客員教授(山形大学))

企業賞	受賞チーム	代表者	受賞テーマ
森下仁丹賞	微生物触媒工学	原富次郎	微生物触媒によるあたらしい農薬

「第2回アグリサイエンスグランプリ」について

株式会社リバネスが主催するビジネスプランコンテストです。農林水産や食分野の未来を切り拓く新しいテクノロジーや、その社会実装にパッションを持った人材を発掘し、事業化へつなげる事を目的としています。

本グランプリは、審査基準を「世界を変えようか」「パッション」「新規性」「実現可能性」の4つとし、世の中にインパクトを与えるスタートアップの発掘・育成を行っています。優勝者には賞金および事業投資500万円を受ける権利が与えられます。

「第2回アグリサイエンスグランプリ」は6月より応募を開始し、総勢23チームの応募の中から書類選考と面談を経て、最終選考会に出場する10チームを決定。また6月22日にマレーシアで開催した「第1回 Tech Plan Ground Prix in Malaysia」の最優秀賞チーム(マレーシアトプラ大学)の計11チームから、最優秀賞ならびに9つの企業賞受賞チームを決定しました。

●リアルテックシードアクセラレーションプログラム『TECH PLANTER』サイト:<http://techplanter.com>

【リリースについてのお問合せ先】

森下仁丹株式会社 経営企画部 担当:磯部・本山 TEL:06-6761-1134 FAX:06-6761-8108
共同PR株式会社 第六業務局 担当:長尾・広岡 TEL:03-3571-5236 FAX:03-3574-9364

